

第2種公式記録員認定会事前講習会を開催

平成27年8月29日（土）静岡市北部生涯学習センターにおいて、標記講習会が開催された。この講習会は、本年12月13日（日）に掛川市で開催される第2種公式記録員認定会の事前研修として県記録委員会が主催したものである。この日は県下各地から10名の受講生が早朝より足を運んだ。同委員会の副委員長である小黒講師（西部ブロック長）、内野講師（中部ブロック長）、池田講師（東部ブロック長）が指導役となり、パワーポイントや紙ベースの資料などをもとに約6時間が費やされる大変充実した講習会となった。

内野講師はルールについて、昨年の試験問題をもとに詳しく説明。池田講師はプレイヤーの交代および実技試験のポイントについて指導を行った。小黒講師は、自責点の説明と実技試験の答え合わせなど、豊富な経験談なども交え、受講生に丁寧に語りかけた。

県記録委員会の芦澤忠委員長は、「記録員のバイブルでもあるスコアリングマニュアルについては、新しい記号や書き方だけでなく、DP・FP等の記帳方法や様々な事例についても正確に理解して欲しい。また認定会はもとより、自分自身のスキルアップのためにも高得点かつ全員合格を目指していただきたい。」と話し、熱心に聞き入る受講生を激励した。



NPO法人静岡県ソフトボール協会ホームページでは、記録員の教材として県記録委員会が製作した「選手交代の記帳事例2015年版」を掲載している（ダウンロード可）。また、現在使用している記録集計ソフトの「Windmill」に関する最新アップデート情報についても、更新の都度に取り上げている。加えて、第3種公式記録員の認定講習会用のDVDについては、全国に配布するなど、記録員の育成や情報の共有に力を入れている。全国一の公式記録員登録数を誇る静岡県から発信する様々な活動が、レベルアップとモチベーションアップに繋がることを期待したい。